

関係各高等学校長 様

埼玉県高等学校軽音楽連盟会長 橋 功
(埼玉県立三郷北高等学校長)

第15回埼玉県高等学校軽音楽コンテストの開催について(依頼)

薫風の候、貴校におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から軽音楽系部活動の振興及び当連盟の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の大会について、下記のとおり開催します。本大会は、全国高等学校軽音楽コンテストにつながる大会として、当連盟への加盟の有無を問わず、毎年、大変多くの学校に御参加いただいているところです。つきましては、部活動の成果発表の場としての本大会の目的を御理解いただき、貴校軽音楽系部活動生徒並びに関係職員の派遣について、格別の御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

記

- 1 日程・会場 予選ライブ 令和7年6月30日(月) 関係書類締切
令和7年7月20日(日) 予選ライブ
決勝ライブ 令和7年8月5日(火)～8月6日(水)
あげお富士住建ホール(上尾市文化センター)大ホール
※上位2校が全国高等学校軽音楽コンテストに参加できます。
(令和7年8月18日(月) リハーサル)
(令和7年8月19日(火) 20日(水) 本番)
- 2 参加申込み 提出締切 令和7年6月30日(月) 必着 PDFで送付
実施要項に従い参加費の納入やエントリー等の手続きを期限内に完了するようご協力をお願いします。(提出及び問い合わせ等は、下記の事務局へお願いします。)

※メールでの提出の他に、連盟の入力業務負担軽減のため下記のフォームへの
エントリー情報入力も併せてお願いします。

→<https://forms.gle/ewLhGdfbsnSnex9NA>



埼玉県高等学校軽音楽連盟事務局長 佐藤 大樹
県立川口工業高等学校内
〒333-0846埼玉県川口市南前川 1丁目10-1
TEL. 048-251-3081 FAX. 048-250-1252
E-mail sato.hiroki.53@spec.ed.jp
連盟HP <http://keionsaitama.com/>

第15回 埼玉県高等学校軽音楽コンテスト 実施要項

- 1 目的：埼玉県高等学校における軽音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与えると共に、各校軽音楽系部活動の活性化を図る。
尚、当コンテストにおける上位2グループは全国高等学校軽音楽コンテストに出場する権利を有する。
- 2 主催：埼玉県高等学校軽音楽連盟
- 3 日程及び会場：

期 日	行 事	会 場 他
6/30(月)	参加申込関係書類 大会参加費振り込み〆切	埼玉県立川口工業高等学校 佐藤 大樹 sato.hiroki.53@spec.ed.jp ※今年度よりメールで申し込みに変更
7/20(日)	予選ライブ	浦和北高等学校 県立浦和高等学校 川口北高等学校 川越南高等学校 三郷北高等学校
8/5(火)	会場設営・リハーサル	あげお富士住建ホール（上尾市文化センター）大ホール
8/6(水)	決勝ライブ	あげお富士住建ホール（上尾市文化センター）大ホール
8/18(月)	第12回全国大会リハーサル	レイボックホール 市民会館おおみや
8/19(火) 20(水)	第12回全国大会	レイボックホール 市民会館おおみや

※新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより動画での開催に変更する場合がある。

- 4 大会出場資格：
 - (1) 埼玉県高等学校内の軽音楽系部活動（同好会、愛好会等も含む）に所属。一人での参加も可。
 - (2) グループ(バンド)内のすべてのメンバーが同一高校、同一部活動内に所属していること。（同じ高校内で複数の軽音楽系部活動がある場合に加え、同一キャンパス内の全日制、定時制、通信制に属する部活は各々、別団体と扱い、同時出場が可能である。ただし、双方の部活生徒が一緒に同じバンドを組むことはできない。）
 - (3) 高校入学後3年以内の生徒であること。ただし、埼玉県大会においてのみ定時制または通信制高校の生徒に限り入学後4年以内の生徒とする。
 - (4) 予選ライブ、リハーサルも含め、集合から解散まで出場バンドメンバー全員が出席すること。また1団体につき1人以上顧問教員(同一校の教員であれば代理可)が必ず引率すること。

5 参加規程及び注意事項：

- (1) 1 団体 1 バンドとする。ただし、連盟加盟団体に限り、一方のバンドがオリジナル曲で参加の場合、2 バンド目の出場を認める。その場合の 2 バンド目の曲は、オリジナルでも既存曲でも自由とする。なお、同一人物の複数バンドへの掛け持ちは禁止とする。この場合のオリジナル曲とは参加バンドメンバーが作詞、作曲をしたものとする。
- (2) 1 バンドにつき 1 曲の演奏とする。オリジナル曲、既存曲を問わず歌詞カード&コンセプト記入用紙に歌詞も記入する。既存曲の場合も含めて内容が高校生として不適切と思われる場合、内容の修正を求めることがあるので、顧問が内容をよく吟味すること。また、歌詞以外のセリフ（バンドの自己紹介や挨拶程度のもは除く）がある場合はそのセリフも記入すること。
- (3) シーケンサー等を使用しての打ち込み演奏は禁止とする。
- (4) 演奏時間は、1 バンド 5 分以内とする。演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。
- (5) エントリー用紙提出以降の曲目の変更、メンバーの追加は一切認めない。予選ライブに限り、止むを得ない場合のメンバー変更（欠員補充・減員）は認めるが、規定の期日までに事務局へ申し出ること。
[令和 7 年 7 月 18 日（金）午後 15:00 まで] ※事務局連絡先は末尾に記載あり
なお曲目の変更およびメンバーの追加があった場合、または上記の期日を超えてメンバー変更があった場合には演奏は可能であるが審査対象外となる。
- (6) 決勝ライブにおいて、予選ライブからの曲目の変更、メンバーの追加およびメンバーの変更は体調不良の場合も含めて一切認めない。
- (7) 当日、会場までの行き帰り、会場内での服装は各参加校の服装規定に準ずる。また、ステージ上での衣装着用および楽器以外の道具の使用は認めない。なお会場校の服装規定などにより各参加校に整容面での配慮を要請する場合がある。全国大会出場に当たっては整容面等に指導が入ることがある。
- (8) 応援、見学の生徒も含めて、高校生としてふさわしくない行為があった場合、その学校のバンドを失格とすることがある。また、該当する高校の次大会以降の出場を停止することがある。
- (9) 予選ライブの会場の振り分けは、地域性その他を考慮してコンテスト運営委員が決定する。（1 校 2 バンドの場合同一会場に調整する。）
- (10) 天候不良や災害によって演奏による審査が不可能になった場合、各校にバンド演奏を録画した動画ファイルの提出を求めることがある。（動画による映像審査にて上位大会進出バンドを決定する。）
- (11) 新型コロナウイルス感染拡大の影響などによりオンラインでの大会開催に変更になった場合、連盟から指示される Google アカウントの作成・動画のアップロードなどの手順を確認すること。

6 参加申込み手続き

(1) 参加費の納入：

連盟加盟校は1バンドにつき4,000円、非加盟校は6,000円を下記の郵便口座に納入する。その際、通信欄に学校名と部活名を記載すること。(決勝進出校は別途3,000円を追加徴収する。)

郵便振替口座 口座番号 00180-8-441500

加入者名 埼玉県高等学校軽音楽連盟

(2) 必要書類：ア. エントリー用紙①(第15回埼玉県高等学校軽音楽コンテスト参加申込書)

イ. エントリー用紙②(歌詞カード&コンセプト用紙)

ウ. エントリー用紙③(連盟加盟団体は1バンドにつき4000円、非加盟団体は1バンド6000円を振り込んだ納入証明・領収書の原本またはコピーを添付する)

※振込の際、通信欄に、振込金額の内訳を記入してください。(例：加盟費5000円、参加費4000円)

※上記ア、イ、ウを PDF ファイル にし、(4) 提出先にメールを送ってください。

エ. 連盟の業務負担軽減のため、エントリー情報を下記のフォームより入力してください。

→<https://forms.gle/ewLhGDfbsnSnex9NA>



(3) 提出期限：令和7年6月30日(月)

(4) 提出先：(メールにて) 埼玉県立川口工業高等学校 佐藤 大樹
sato.hiroki.53@spec.ed.jp

7 予選ライブ

期日：令和7年7月20日(日) 9:30~17:00

場所：浦和北高等学校
県立浦和高等学校
川口北高等学校
川越南高等学校
三郷北高等学校

※本番時間は入れ替えこみで1校あたり10分として計算。

※事前のリハーサルはなし。演奏直前に簡単な音出しをしてバランスチェックをする。

※出場バンド数により、時刻が予定と前後することがありうる。

- ① 審査員は3名とし、音楽系の企業や専門家、または教育関係者などに依頼する。
- ② 審査において「演奏技術」・「完成度」・「表現力」などを評価の観点とし、決勝進出バンドは審査員3名の協議によって選出される。
- ③ 各会場上位4~5バンド(予定)が、決勝ライブに出場することができる。
- ④ 審査結果は連盟HPに公表する。
- ⑤ 参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。
- ⑥ 決勝ライブに参加辞退があった場合、繰り上げで次点のバンドへの参加依頼をすることがある。
- ⑦ 予選ライブにおいて応援・見学は会場規模の関係上できない。
- ⑧ 当日、大会の様態を連盟の教員が、ビデオ撮影することがある。これは連盟公式の記録用である。肖像権等の事情がある場合は、大会参加申込までに事務局に連絡するようにする。自校のバンドの演奏の撮影・録音は自由だが、他校のバンドの撮影・録音を行う場合は顧問に必ず許可を取ること。

※その他、会場使用方法などについては、プログラムが決まり次第、後日該当校に要項が送られる。
予選ライブ会場ごとの指示に従うこと。

- 8 決勝ライブ 日程：令和 7 年 8 月 5 日(火) 11:30～17:00
令和 7 年 8 月 6 日(水) 9:30～17:00

※本番時間は入れ替えこみで 1 校あたり 10 分として計算

※リハーサルについては、本番と同じ順番で行う。詳細な時程等は決勝ライブ進出バンド顧問にメールにて連絡する。

※5 日(火) 受付にて、決勝ライブ参加費として、1 バンドにつき 3000 円を徴収する。

場 所： 上尾市文化センター 大ホール (JR 高崎線上尾駅東口から徒歩約 15 分)
〒362-0017 埼玉県上尾市二ツ宮 750 番地 TEL 048-774-2951

- ① 審査員は 5 名とし、音楽系の企業や専門家、または教育関係者などに依頼する。
- ② 審査において「演奏技術」・「完成度」・「表現力」などを評価の観点とし、受賞バンドは審査員 5 名の協議によって選出される。
- ③ 審査の結果、上位入賞者に対してグランプリ(1 バンド)、準グランプリ(1 バンド)、奨励賞(3 バンド)、特別賞(審査員特別賞・委員長特別賞)を与える。
- ④ 審査結果は連盟 HP に公表する。
- ⑤ 参加バンドすべてへ審査員によるコメント用紙を渡す。
- ⑥ 一般公開、入場無料とする。

※集合時間について決勝進出校顧問に向けて追って連絡する。

※県大会上位 2 校(グランプリと準グランプリ)が 8/18, 19, 20 に行われる全国大会に出場することになる。出場校は、当日の参加の可否を確認した上で、大会終了後、以下の手続きを行う。

- ア) 『全国大会参加申込書』及び『歌詞カード&コンセプト用紙』の記入。
- イ) 全国大会参加費¥20,000 の支払い

※その他の決勝ライブについての詳細な要項は予選ライブ以降、決勝大会出場校に配布する。

9 その他

- (1) グランプリのバンドが所属する学校が第 13 回埼玉県高等学校軽音楽新人大会に出場する場合、その学校が出場する予選会場の決勝勝ち上がり枠が 1 つ増える。
- (2) 引率顧問教員には、下記※のような①～⑤のように大会運営に参画してもらう。
※①受付 → 演奏生徒、応援生徒・顧問の受付・資料配布・注意事項の説明
②ステージ転換対応 → ステージの転換をスムーズに行うため、演奏生徒のセッティングを補佐する。
③生徒誘導 → チューニング室や舞台横への生徒誘導
④司会 → 大会当日における司会進行
⑤警備・誘導 → 会場内の整理・警備等
- (3) 大会参加校生徒に大会運営について協力を要請することがある。
- (4) 埼玉軽音連によるホームページや冊子に個人が特定されない形での写真の掲載を承諾すること。
(参加申込書を提出した時点で承諾したものとみなす。)
- (5) 追加連絡がある場合、連盟 HP <https://keionsaitama.com/>に随時あげていくので確認すること。また、末尾の事務局だけでなく、問い合わせ先に事務局長のメールアドレス sato.hiroki.53@spec.ed.jp も活用できる。
- (6) 連盟役員が大会記録用にビデオ撮影をすることがある。個人が撮影する場合、撮影を受ける高校の顧問が許可すれば自由だが、電源は各々準備する。ただし、画像・映像の管理には十分注意すること。

10 大会に持参しなければならないもの（運営側に準備がないもの）

- ・スネアドラム（ドラマー）
- ・シールドケーブル（5m以上推奨）※11 細則「機材についての注意」参照
 - ◎ギターからアンプに直接接続の場合 ⇒ 予選5m以上、決勝7m以上のケーブルを推奨
 - ◎エフェクター等を使用する場合 ⇒ 5m以上(推奨)のケーブルを2本
- ・コメントシート（後日顧問にデータを送付するので印刷して持参）
- ・キーボード（ステージピアノは連盟で用意あり）
- ・シンバルスタンド（シンバルを追加する場合）
- ・ギター・ベース等の個人楽器
- ・上履き（予選ライブのみ）
- ・筆記用具
- ・昼食（外に買いに行くことはできない）

※キーボードスタンドについては1台は連盟で用意あり。複数台を使用する際はスタンドも持参すること

※演奏時にクラッシュシンバル等を強めに連打するなど、会場校の機材に負担を掛けることが予想されるバンドは該当するシンバルも持参すること

11 細則

◎ライブの審査・評価について

以下の場合には受賞対象外となる。(演奏は可能)

(1) 期限を超えてのメンバー変更

※エントリーシート提出後のメンバー変更可能期間は以下の通り

令和7年

月	火	水	木	金	土	日
6/30 エントリーシート提出期	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18 15:00までに事務局に申し出	19	20 予選ライブ
21	22	23	24	25	26	27
7/28~8/4	8/5 決勝 リハ	6 決勝 ライブ	7	8	9	10

止むを得ずメンバー変更の可能性が場合は期限までに事務局へ申し出ること。

(2) エントリーシート提出後のメンバーの変更、または曲目変更

※メンバーの減員についても「メンバー変更」と見なすので上記の(1)を参考にすること

(3) 当日バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席(体調不良、忌引きなどの理由も受賞対象外となる)

※ただし公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない

(4) 引率顧問がライブ当日の受付時間に遅刻、または欠席

※引率顧問については同一校の教員であれば代理可

(5) 演奏時間が5分を超える

※演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。

(6) ステージに顧問やコーチ等が上がる。

※出場校の顧問や生徒がPA業者に直接要望を伝えるのは控えること。

演奏上の不具合などが発生した場合はPA付近にいる連盟の教員(統括D)に相談すること。

◎演奏順について

・演奏順についてはエントリーシート提出後の役員会において連盟役員によるくじ引きで公平に決定する。

◎シーケンサー等の打ち込み・同期演奏の禁止について

・シーケンサーとは、ドラムのリズム・メロディ・コード進行等をあらかじめ入力・録音・設定しておき、それらを自動的に演奏させるために使用する機材である。それらの音源に合わせて歌唱やギター等の楽器の演奏を行うことを「打ち込み」または「同期演奏」等と言い、本連盟主催大会では禁止している演奏形態である。上記を含む、曲全体のテンポの基準になるようなリズムパターンの使用、メロディ、リフ、コーラスなどの事前の録音は一切禁止となる。

- ・ただし本番の演奏内で、フレーズをメンバー自らの演奏で録音しそれを任意に再生するといった「ルーパー」としての使用は可能である。
- ・なお曲のリズムやテンポの保持に関わらない範囲での、効果音や音色の事前録音、機材への記録は「サンプラー」と定義し、本大会での使用を制限しない。(例)花火、セミの鳴き声、その他 SFX など

こうした機材は多岐に渡るため、不明な点や判断に迷うものは事前に事務局へ相談することを推奨する。

◎ 機材についての注意

- ・楽器、アンプ、PA 機材等は様々な学校、企業の協力により借用したものである。**故意、もしくは誤った使用により破損、故障をした場合には、当事者が弁償をすることになる**ので、細心の注意を払って使用をすること。
- ・ギターアンプ、ベースアンプなどのアンプ類は、電圧がかかったままシールドケーブルを抜き差しするなど音を出す手順を間違えると、スピーカーにスイッチングノイズ(ボンッ! というような音)が送られて、機材を傷めてしまうことがある。必ず、以下の手順で操作すること。

1. シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。
2. スイッチを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。
3. その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を付ける。
4. ボリュームをあげて、音量を調整する。

消すときの手順はこの逆になる。

- ・マイクを振り回したり息を強く吹きかけたり叩いたりしないこと。また、網の部分握ったり、口に斜めに向けたりすると、きちんと音が拾えなくなる。マイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁である。なぜなら、ハウリング(キーンという音)を起こす恐れがある。
- ・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かしてしまうと、ネジが利かなくなり位置が固定できなくなる。
- ・「スネア」は各校で持参すること。ドラムを思い切り力任せに叩く生徒を時々見かけるが、決していい音は出ない。ヘッド(打面)を傷めてしまうだけである。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。
- ・ボリュームを上げたままでジャックを抜き差ししたり接触不良のシールドを使用したりしたときに出る『ガリガリ』という音は、出力が極端に大きい場合に、音響のシステム全てを壊す恐れがある。ボリュームを下げることを忘れないこと。また、ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。マイクを落としたときなどに発生する音も、同様の事故につながるがあるので十分注意すること。
- ・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル等)は、前日までに接触不良等がないか、必ずチェックしておくこと。ステージが広く、シールドケーブルが短いことで宙に浮く状態は大変危険なので、5m以上の長いものを必ず用意する。(決勝大会のステージは広いので7m以上を推奨する。)
 - ◎ギターからアンプに直接接続の場合 ⇒ 予選 5m以上、決勝 7m以上のケーブルを推奨
 - ◎エフェクター等を使用する場合 ⇒ 5m以上(推奨)のケーブルを2本
 また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。
- ・アコースティックギターにピックアップがない場合、マイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があり、バンドでの演奏の場合音が聴こえないなどの問題が起こることがある。(ピックアップの準備を勧める)

- ・キーボードは連盟で用意しない（スタンドのみ準備あり）ので、各自持ち込み（ACアダプタ・シールドも持ち込み）となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。なお、原則として出力はフォンとする。なお、ステージピアノは連盟で用意する。

問い合わせ先 埼玉県高等学校軽音楽連盟

連盟 HP <https://keionsaitama.com/>

事務局長 佐藤 大樹

〒333-0846 埼玉県川口市南前川 1 丁目 10 - 1 埼玉県立川口工業高等学校

TEL. 048-251-3081 FAX. 048-250-1252 e-mail: sato.hiroki.53@spec.ed.jp

エントリー用紙 ③

連盟使用欄			

(学校名)	(クラブ名)
(バンド名①)	(バンド名②)
連盟加盟団体は1バンドにつき4000円、非加盟団体は1バンドにつき6000円を振り込んだ 納入証明・領収書の原本またはコピーを添付してください。	
備考欄	

セッティング図の記入上の注意

- ・学校名、グループ名、曲名、グループメンバーのフリガナの記入を忘れないこと。
- ・ボールペン等黒色のペンで記入すること。(鉛筆だとコピーした際見えなくなる場合有り)
- ・電話番号、FAX 番号、顧問緊急連絡先、職印を忘れないこと。
- ・作詞・作曲(カバーの場合は原曲演奏者)・演奏時間の記入を忘れないこと。
- ・メンバーが作詞作曲に関わったもののみがオリジナル曲である。先輩などが過去に作詞、作曲したものなど、提供曲は、公か否かに関わらず、コピー曲として扱う。
- ・エントリー用紙に書かれたグループメンバーから変更は認められない。
- ・ステージ構成表は記入例を参考に、マイクの本数と位置、使うアンプがわかるように記入すること。
- ・キーボードは連盟で用意しないので、スタンド以外は各自持ち込み(AC・アダプタ・シールドも持ち込み)となる。必要に応じてサステインペダルまで用意すること。
- ・キーボードの位置を変えるなどの注文は事前に大会参加申込書の「特殊なセッティング」の欄に記入があらかじめないと、原則として認められないので、記入し忘れないこと。

アウトプットの種類



- ・ドラムのセッティングは入れ替え上、重要な事項となる。左利きセットに該当する人、1タムの方は必ず記入すること。何も記入が無いときは、右利き2タムセットと判断する。
- ・その他、持ち込み機材、特殊セッティングがある場合はエントリー用紙に記入すること。